

地域のみなさま、こんにちは。いつも、本校の教育活動に対しまして、御理解・御協力をいただき、ありがとうございます。令和元年度1学期の地域連携活動についてお知らせいたします。

本校におきましては、今年度も、「家庭や地域社会との連携、及び学校相互の連携や交流の推進」、「生徒の生活の充実と活性化」、「地域教育資源や学習環境の活用」、「生徒の人間関係や経験を広げる適切な教育活動の推進」等を推進しております。保護者の方々や学校支援ボランティアなどの多くの方々や、自然や文化施設等を可能な限り御活用させていただき、教育活動を実践してきているところです。今までの活動が認められ、6月17日(月)に、北押原コミュニティセンターで開催された「鹿沼市学校支援ボランティア活動研修会」において、先進的な実践事例として南摩地区・南摩中学校の実践を発表し、大変好評でした。

また、2017年度から発足した南摩中学校の「学校支援ボランティアごぐら会」の更なる充実を目指して、6月20日(木)に、学校支援ボランティア会議を開催いたしました。今年度は、6月末現在で61名の方々が、本校学校支援ボランティアとして御登録くださり、当日は、10名の皆さんが参加してくださいました。以下に、その際に共通理解を図った事柄につきまして、その一端を御紹介いたします。本校学校支援ボランティアの趣旨に御賛同いただける方は、常時入会の募集をいたしておりますので、ぜひ学校に御連絡くださいますよう、よろしく願いいたします。

(連絡先 TEL: 77-2009 担当: 教頭まで)

1 南摩中学校 学校支援ボランティア会の趣旨

現在、家庭や地域の教育力の低下や、子どもたちを取り巻く教育環境の激しい変化が指摘されています。南摩地区におきましても、同様な状況であることが言えるものと思います。また、近年におきましては、南摩地区アイデア会議等も毎年行われ、地域を更によりよくしていこうという機運も、盛り上がりつつあります。

そこで、保護者と地域、及び学校が協力して南摩中学校の学校支援ボランティア活動の組織を中心に、より学校教育が地域に根ざしたものとなり、子どもたちの「豊かな体験と健全な育成」を目指し、更には『学校を核とした地域づくり』の実現を目的として、協働体制の基で、諸活動を行えるようにするための組織です。

2 名称 南摩中学校ボランティア 「ごぐら会」

3 組織について

代表 (PTA会長 廣田 誠 様)
 地域コーディネーター (福田修久 様)
 事務局 (教頭、教務、事務主事)

4 南摩中学校 学校支援ボランティア室について

場所: ランチルーム内 会議室

- (1) 関係資料の保管、今後の予定などの掲示
- (2) 記録簿の作成、活用とその保管
- (3) 支援内容についての話し合いスペース、活動準備
- (4) 湯茶・休憩スペース 等



5 具体的な活動について

(1) 活動方針

- ① 学校側とよく相談して効果的な活動を行う。特に、学習支援や各種講座に関しては、学習のねらいに沿って、学校の担当者と連携を図りながら行う。
- ② 生徒とのふれあいや交流活動をとおして、地域の文化や伝統などを伝えられるような気持ちで活動を行う。

(2) 活動の流れ

- ① 学校(事務局)より地域コーディネーターへ支援依頼
- ② 地域コーディネーターは、事務局と相談し該当する会員と連絡調整(日時や内容)
- ③ 地域コーディネーターは、会員、及び事務局へ連絡
- ④ 支援活動実践
 - ・支援者は、来校時に職員室へ声をかけて、ボランティア室へ向かう。
 - ・来校の記録や活動内容などを記入する。
 - ・支援者は、ボランティア室で打合せを行い、その後、活動する。

(3) 活動の記録(写真や活動記録など) →事務局で記録を累積していく

「育てよう! 地域の子どもを、地域の力で・・・」 ~学校と共に (*^_^*)